

広報たじみ

tabiunist

共につくる。まるごと元気！多治見

1

2021

No.2336



TAJIMI 80TH

ANNIVERSARY

2020

多治見市は令和2年
8月1日に市制80周年
を迎えました。

P02～05

新春座談会 「田中亮明さん～目指すはオリンピック金メダル～」

【今月の見どころ】

P06 モザイクタイトルミュージアム

○P17 駅北庁舎休日開庁日

P30 元謙太さん～プロ野球で活躍を期待～

○P18 夜間在宅当番医・休日急病診療

裏表紙 テレビアニメ「やくならマグカップも」

©フナネット・日本アニメーション/やくならマグカップも製作委員会



共につくる。
まるごと元気！
多治見



新春座談会

2021年



今回の新春座談会は、2020年度グッドデザイン賞特別賞グッドフォーカス賞
[地域社会デザイン]を受賞した虎渓用水広場で収録しました。



多治見市長 古川 雅典

市長 本日は新春座談会にお集まりいただきありがとうございます。去年は新型コロナウイルス感染症により、誰も経験したことがない大変な1年でした。特に子どもたちは、3カ月学校に行くことができない辛い思いをしました。市民みんなで乗り越えた去年1年。本日は新たな2021年のスタートとして、「今年はこんな年にしていきたい」というお話を伺います。

去年はどんな年 2021年はこんな年にしたい

田中 去年はコロナでオリンピックがなくなり、我慢の年でした。2021年は我慢を爆発させて目立ちたいです。

市長 東京オリンピックの目標は？

田中 もちろん金メダルです！（参加者一同「おー」と感嘆の声と拍手）

井戸 去年は多治見を知る年でした。多治見市役所のインターンシップに参加し、さまざまな町並みを見せていただきました。コロナ禍でも市民の皆さんは明るくパワーがあると感じました。2021年はそんな明るく



水野 ひかり さん

パワーがあふれる年になればと思います。
水野 私もコロナで今までのように友達と市外へ出ることができなくなり、市内で会う機会が増えたことで、喫茶店やながせ商店街など改めて多治見の魅力を知ることができました。

市長 まさに「災い転じて福となす」。そんな去年の災いは、みんなで田中選手の金メダル獲得を応援して吹き飛ばしましょう。

皆さんが感じる多治見の魅力とは

田中 多治見の平和な雰囲気が好きです。陶器・タイルで有名な街で、美術館が多くあるところもいいなと思います。さらにアートの街として市内外の多くの方に知ってもらおうと、観光客が増え、若い人たちが集うデートスポットになると思います。

井戸 私もそう思います。産業を大切にしている街で、さらにそれだけでなく、芸術や文化も魅力。私自身も小説を書きますが、作家さんにとっても住みやすい街だと感じます。将来はそんなまちづくりをしたいです。
水野 いろいろな人にとって芸術が身近にある



田中 亮明^{りょうめい}さん
多治見市在住(市之倉町出身)

1993年生まれ。幼少期に空手に出会い、のちにボクシングと出会う。現在は中京高校の教員。国体で四連覇し、2015,2016,2019と全日本選手権で優勝。東京オリンピック代表確定。焼肉が好物。



井戸 綾音^{あやね}さん
多治見市美坂町在住

現在大学生。大学進学後消防団へ入団、成人式実行委員会委員長を務めるなど地域や多治見市の活動に積極的に協力。



水野 ひかりさん
多治見市笠原町在住

現在多治見北高校生。高校の放送部に所属し、市制80周年記念式典において司会を務めた。第41回岐阜県高校放送コンテスト新人大会朗読部門では1位入賞を果たし、夏に開かれる全国高校総合文化祭に出場予定。



田中 亮明さん

ことは大切で、心が安まる場所になると思います。私もそういう仕事や書くことに興味があるので、そういうことがやりやすい街になるとうれしいです。住んでいる人が街の魅力を感じ誇りに思う、まずは私たちが多治見を知って魅力と考えるようにしていける
市長 市ではそのために教育から街の魅力を伝えていく工夫を行っています。多治見には陶磁器意匠研究所や多治見工業高校専攻科



井戸 綾音さん

（陶磁科学芸術科）など文化芸術を学ぶ環境があり、芸術家が集まっています。ここで学んだ人たちが多治見で結婚して子どもを産んで生活をする。市はそれを支援する事業に力を入れています。
まちに期待すること
それぞれにできること
田中 多くの人に応援してもらい、支えても



らってオリンピックに出場することができ
るので、金メダルをとって恩返しをしたい、多治
見の自慢できる人になりたいです。

井戸 多治見をもっと深く知るために街に出
かけています。去年の美濃焼GO[※]では、実際
に美濃焼を買いました。まず自分が街に出
て体験し、多治見の魅力を広めていく。1
人ひとりの力は小さいものでも、みんなで共
有することで大きな力になると思います。

水野 女子高生だからできることがあると思
います。例えば、友達同士で広めることや、
SNSなどを使って広く伝えることができます。
いろいろな人に情報を届けたいです。

モザイクタイルミュージアムを初めて見たと
きは、ジャガイモみたいで流行ると思わな
かったのですが(参加者同大笑い)、多くの
観光客でにぎわっている様子を見て、当たり
前だと思つて気付かなかった身近なタイルの
魅力を再発見することができました。

市長 市役所は、市民の皆さんが幸せになる
ため、日々の生活を支えるため、さまざまな
仕事をしています。蛇口をひねれば水が出て
くる、病気になったら救急車が駆けつける。
これまでこうして地道に「生懸命がんばって
いることを、市民や多くの人に知ってもら
う広報が不足していました。3人から多治見
は良いまちなんだから」もっとまちの魅力を
外に発信していいよ「私たちもSNSを使っ

※美濃焼GO：去年8月1日開始の美濃焼等
販売促進支援事業。美濃焼購入時にメッセー
ジカードを記入すると40%オフ

※TAJIMEALGO、スイーツ+プラス：
飲食店や菓子店でテイクアウトする際にメッ
セージカードを記入すると200円オフ

て発信するよ」と温かいメッセージをいただ
きました。

**いいことはどんどん取り入れる
変わろうとするまち**

市長 去年から広報紙の形態を一新し、堅苦
しい広報から、フリーペーパーのような肩の
力を抜いて気軽に読んでもらえる、興味をも
ってもらえる広報としています。また、多く
のお店の協力により、地元応援クーポン券を
付けています。広報を手にとって、地元のお
店で割り引きやプレゼントを受けることがで
きます。

TAJIMEALGO、スイーツ+プラ
ス[※]、美濃焼GOで自分たちのまちをまず
市民に知ってもらい、そこからさらに発信し
てもらうことで多くの方に広がりました。こ
の発信する力を、皆さんのような若い世代に
特に期待しています。皆さんの力で、このま
ちが変わろう、輝こうとしている、そんな魅
力が高まります。

去年は市制80周年。多治見は陶磁器とタ
イルの歴史が1300年もあるすごいまちで
す。そんな自分たちのまちの誇りを見直し
ていく。外から海外からこのまちに来てもら
う。そんな意味を込めてセラミックバレー[※]
に取り組んでいます。

**温故知新
古きを訪ねて新しきを知る**

多治見市は、新しい試みと、もともと持つ
ている陶磁器とタイルの文化・歴史をさらに
発展させていきます。企業誘致により最先端





の焼き物技術を有するNGKセラミックデバイス株式会社が進出しています。伝統産業の新しい発展を経済界と共に推進します。

2021年は、伝統文化の上にさらに飛躍・発展をする年で、**陶磁器フェスティバル**など**魅力満載の年**になります。また、駅の北側に続き、駅の南側は2022年の秋に駅南地区市街地再開発事業が完成します。この事業の中核には、無機質ではない、緑があつて、水があつて、陶器・タイルがあつて、そこに子どもの声や音楽が聞こえている、そんな有機的なコンパクトシティをつくっていきます。期待しててください。

去年はみんな経験したことがない、暗くて大変で嫌な年でしたが、皆さんがそれぞれの立場で多治見の魅力を高めていただくことで**多治見市第7次総合計画「共につくる。まると元氣！多治見」**、必ずここに到達することが出来ます。本日は明るい未来をお話いただきありがとうございます。

※セラミックバレー…多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市は、良質な陶土に恵まれ、1300年の長きに亘りやきものの産業と文化が息づいています。作家や窯元、商社、関連企業が集うこの世界有数の一大生産地を「セラミックバレー」と新たに名付けました。

多治見市では美濃焼の文化や技が代々受け継がれ、個性豊かな窯元や、国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）を生み出しました。また、早くから分業化が進んだ美濃焼を日本全国へ広げた商人の営みは、今日もやきもの業界をリードする多治見市の礎を築きました。



新春座談会こぼれ話 多治見市のおすすめ再発見

市長 多治見でおすすめのお店があれば教えてください。

水野・井戸 ながせ商店街にあるヒラクビル※は本屋やカフェがあり、周辺のお店を含めおすすめです。

田中 僕のおすすめは不二家多治見店です。朝の早い時間にシャッターを開け付近の掃除をされています。夜遅い時間に帰ってきても開いています。お店の人も優しく、街のみんなのためにがんばっていると感じる、大好きな地元のケーキ屋さんです。

市長 そんながんばっている地元のお店がたくさんあります。みんなで応援していきましょう。多治見は飲んだり食べたり、器の良さなど別格のレベルで、その良さを観光など多くの人にきて見て知ってもらいたいです。

また、多治見には日本酒の蔵元で笠原の三千盛※があります。淡麗辛口、昔に文豪が飲んだ際「辛口というよりも『水口（お水）を飲むようにいくらでも飲める』と評した程おいしいお酒です。もう一つのおすすめは甘原のいちごジャムとブルーベリージャム。甘さ控えめで粒の食感を味わえます。どちらも東京出張などトップセールスの際にお土産に持つていくと、非常に喜ばれます。

※ヒラクビル…ながせ商店街にある旧宝石・時計・メガネの「ワタナベ」をリノベーションし、2019年3月にオープンした複合施設。

2020年多治見市 10大 ニュース

- 1位 市制80周年(8月)
- 2位 TAJIMEALGO、美濃焼GO、TAJIMEALGO スイーツプラス想定以上(4~10月)
- 3位 マンガ「やくならマグカップも」テレビアニメ放送決定(9月)
- 4位 駅南市街地再開発工事本格化
- 5位 元気に学習310作戦(遅れた3カ月を10カ月でカバー)、

小中学校夏季休業期間中の給食の無償化と特別メニューの提供

- 6位 複合施設「小泉交流センター」「精華交流センター」開館(4月)
- 7位 (仮称)食育センター起工(6月)
- 8位 コロナ対策を徹底の上、各種イベントなどの再開
- 9位 第7次総合計画後期計画スタート「共につくる。まると元氣！多治見」
- 10位 マスク・消毒液など多数の寄付を医療機関などの支援につなげた
- 番外 特別定額給付金(1人10万円)のスピード支給(5月)
- 番外 市民・議会・市職員の総合力でマニフェスト大賞グランプリ(最高賞)受賞

Pick up

モザイクタイル ミュージアム

タイルの魅力を発信

多治見市笠原町は、古来陶磁器産業が盛んな町でしたが、戦後まもなくタイルの製造工場が急増し、モザイクタイルの生産量日本一を誇る街となりました。平成28年6月に開館したモザイクタイルミュージアムは、地域で培われてきたタイルの技術や歴史、文化に関する情報を集め、タイルの不思議な魅力を発信する拠点として、開館当初から賑わいを生み出しています。

ユニークな外観の建築は、世界的に著名な建築家・藤森照信氏によるもので、タイルの原点であり多治見の原風景ともいえる粘土の鉢山がモデルとなっています。館内にも、洞穴のような大階段や暖炉など、藤森氏のこだわりが随所に見られます。特に4階展示室は、地元有志が約20年かけて収集したタイルが藤森氏の監修により常設で展示され、その隙間を真っ白なタイルが埋め尽くす非日常的な空間です。

日本随一のタイルの生産地に建てられた博物館として、モザイクタイルミュージアムでは、3階展示室を主会場に年間3本ほどの企画展示を開催し、ワークショップや工場見学、タイルをめぐるまち歩きなどの各種イベントを実施してきました。また、実際にタイルを使ってみたいというお客様のために、直接ご相談いた

だけの産業振興のエリアもあり、さまざまな見本によって充実させています。周辺にもタイルを用いた新しいお店や商品が増えてきました。こうした流れに乗って、全国から「タイル」といえば多治見と言ってご来館いただける施設を目指し、日々活動に取り組んでいます。市民の皆さまもぜひご利用ください。





多治見市 陶磁器意匠研究所
多治見市美坂町2-77 TEL 0572-22-4731

多治見市 文化財保護センター
多治見市旭ヶ丘10-6-26 TEL 0572-25-8633

多治見市 モザイクタイルミュージアム
多治見市笠原町2082-5 TEL 0572-43-5101

1 多治見市陶磁器意匠研究所企画展

多治見のやきもの Vol.3 笠原
-笠原のやきものの歴史ダイジェスト-

期間 1月23日(土)～3月26日(金) 9:00～17:00

休館日 土・日曜日、祝日

※1月23日(土)、2月20日(土)、21日(日)は開館

※入場無料

場 所 陶磁器意匠研究所 TEL 0572-22-4731

「タイルと茶碗の町」と呼ばれる笠原町。笠原では、鎌倉時代後期以降、やきものの生産を現代まで続けています。本展覧会は、多治見市文化財保護センターと多治見市モザイクタイルミュージアムの収蔵資料を合わせることで、妙土窯^{みょうどかま}でつくられたやきものから、昭和時代につくられたモザイクタイルまでを紹介し、笠原のやきものの歴史を学ぶことのできる企画展です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、陶磁器意匠研究所ホームページをご覧ください



2 特集展示

ishoken 研究生デザイン実習作品

期間 1月23日(土)～3月7日(日)

9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)

場 モザイクタイルミュージアム 3Fギャラリー

入場料 一般310円、団体250円(常設展観覧料でご覧いただけます)

※高校生以下無料、障害者手帳をお持ちの方および付き添い1名様無料

※新型コロナウイルス対策として、当面の間、土・日曜日、祝日のご入館は予約制とさせていただきます

問 モザイクタイルミュージアム

TEL 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

昭和26年に設立された美濃焼上絵付研究所を前身とする多治見市陶磁器意匠研究所は、昭和34年に発足し、翌年第一期の卒業生(昭和33年入所)を送り出しました。以来900人を超える陶芸家やデザイナーを輩出し、今なお全国からやきものを学びに若者が集まってきました。現在同所に在籍する研究生17人がデザイン実習の課題として「やきものの魅力を活かした壁面装飾タイルを製作すること」に挑戦した作品を特集展示します。

総額約5億円の12月補正予算を 市議会に提案しました。

Important announcement

新型コロナウイルス 感染症対策と未来に向けた 事業を進めます

1 新型コロナウイルス感染症への対応…1億1,445万円

①令和3年4月1日までに出生した新生児に1人10万円支給 …3,004万円

令和2年4月28日以降に出生し、多治見市に住民登録のある新生児に1人10万円を支給します。(詳細は本ページ下部をご覧ください)

②小中学校の日帰り修学旅行等の行事を支援…1,100万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊から日帰りになった修学旅行等の支援や宿泊旅行中止に伴うキャンセル料を支払います。

2 バロー文化ホールのリニューアル工事を開始…2,273万円 (設計委託費の1部として)

令和2年度から4年度にかけて、総額16.7億円の予算により、大ホールの音響や客席の更新を含め、施設全体をリニューアルします。市民の文化活動の拠点として、未来へつなげる施設を市民と共につくりあげていきます。

3 (仮)多治見市役所新庁舎検討市民委員会を設置…13万円

建て替えの必要性から、新庁舎の構想や運用方法までを審議する市民委員会を新設します。

問 企画防災課 TEL 22-1376

新生児特別定額給付金を給付します

多治見市では、国の特別定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日以降に出生した児童へ、一律10万円を給付します。

対象児童

令和2年4月28日(火)～令和3年4月1日(木)に生まれ、多治見市に住民登録のある児童

給付金は対象児童の児童手当受給者に給付します

①保険年金課から児童手当が振り込まれている方は、同口座へ振り込みます。(申請不要)

②公務員など保険年金課以外から児童手当が支給されている方は、市役所から郵送する申請書を提出してください。

※上記①②対象者には個別に通知書を郵送します。振込時期、申請方法など詳細については通知書をご確認ください

問 企画防災課 新生児特別定額給付金担当 伊藤 TEL 22-1376